



平安

心からの安心

ジョイス・マイヤー

平安

心からの安心



ジョイス・マイヤー

Unless otherwise indicated, all scripture quotations
are taken from the:

SHINKAIYAKU BIBLE.

Copyright © 2004 by Inochi No Kotoba Sha
(used by permission);

and from the LIVING BIBLE.

Copyright © 1971 by Inochi No Kotoba Sha
(used by permission).

Copyright © 2015 by Joyce Meyer
All Rights Reserved.

Translated and printed by Lifehouse Media in Japan.
<http://www.mylifehouse.com>

For more copies of this book and other resources
please contact the Joyce Meyer Ministries Japan
team at contact@jmmjapan.jp.

目次



まえがき	vii
1. 心から安心していますか？	1
2. 「心の安心」の楽しみ方	4
3. 「心の安心」に導かれること	7
4. 心の安心を奪うものは何ですか？	11
5. なぜ悪魔は心の安心を奪おうとするのか？	14
6. 試練への心構え	20
7. 一日、一步、着実に	26
8. 祈りは心に安心をもたらす	31
新たな人生を体験する	34
ジョイス・マイヤーについて	37
ジョイス・マイヤーへお問い合わせ	39

まえがき



「…平和な生涯 (平和な調和があつて、恐れや、心を掻き乱すような情熱、精神的葛藤から影響されない生涯)を送りたいと願うなら、(ただ単に神との平和を求めただけではなく、周りの人や、自分自身とも)平和を熱心に追い求めて、手に入れなさい。」
1ペテロ3章11節(リビング訳より一部強調)

この平安に関する本を、皆さんが楽しんで、学べるように祈っております。

「…人間の理解をはるかに超えた、すばらしい神様の平安を経験できます。」
ピリピ4章7節(リビング訳)

第1章

心から安心していませんか？

✦神様によって生まれ変わったのなら、誰でも心に落ち着きを持ち安心して人生を楽しんでいるべきです。イエスはヨハネ14章27節でこのように言っています。

「わたしが与える平安、あなたがたに今与えるわたし(自身)の平安(=心からの安心)はこれから後に残る平安(=心からの安心)です。この平安(=心からの安心)はこの世の中が与えるものとはまったく違います。だから、どんな時にもおそろしたり恐れしたりしてはいけません。(心を乱したり動揺せず、また恐れや脅威、臆病や不安に心を奪われないようにしなさい。)」

ヨハネ14章27節(AMP訳から一部強調)

とても力強い聖書箇所です。ぜひ何度か読み返して、そして最低でも5分ほど時間をかけて、じっくり考え、自分の心で感じ取ってみてください。

まず、私がここで言いたいこと、それはイエスが与えてくれる心の安心は特別だということ。それは世の中が与えるような安らぎではないということです。世の中が与える安らぎとはどんなものでしょう？それは特定の感情による安らぎです。

このような安らぎは、人生で物事が自分の思い通りに進んでいるときに得られます。しかし、物事が思い通りにいかないとき、世の中の平安はすぐに消え去ります。

第1章 - 心から安心していますか？

そして、その代わりに「動揺」に心が支配されてしまうのです。一方、イエスが与えてくれる安らぎは、良い時も悪い時も、満たされている時も落ち込んでいる時も、常にそこにあります。イエスの心は嵐の中でも働いているのです。

物事がすべて思い通りにいくのであれば、世の中が与えてくる安心でもよかったかもしれません。しかし、実際には、そのようなことばかりではないことを知っているでしょう。私はイエスを信じる者として、全てのネガティブなことや自信が持てないことを、自分の信仰によって取り除こうと何年も努力していました。

しかしこれによって、私はとても大きな失望の穴にはまり込んでしまったのです。自分ではどうすることもできないことに対して、どうにかしようと自分で頑張ることは本当に自分にとってストレスになります。たとえ人生の嵐や試練の中にあっても、神様との関係と経験、また信仰によって心の落ち着きと安心を保つことが必要なのだと、私はやっと気付き始めたのです。私がすべきこと、それは私の持っている心の落ち着きを悪魔から守ることだったのです。

イエスは、ヨハネの福音書14章27節(AMP訳の直訳)で、「心を乱したり動揺しないように」と言いました。この聖書箇所を繰り返し読み、考えれば考えるほど、私はこれをしてしまっているのだと聖書は訴えてきました。私はこれを止めなければなりません。イエスは同じ聖書箇所で、「恐れや脅威に心を奪われないように」とも言っています。

イエスは、マルコ4章40節で、嵐の中で心の落ち着きを失った弟子たちに対して、彼らの信仰の弱さを叱りました。イエスは心の落ち着きを失うことなく、船の後ろで寝ていたのですが、弟子たちはパニックになり動揺していました。あなたはどうですか？船の後ろでイエスと一緒に心から安心して楽しんでいられますでしょうか？もし心に落ち着きがなければ、人生を楽しめていないことになります。

第2章

「心の安心」の楽しみ方

◆どんなメッセージも、自分が必要とするものを「どうすれば」手に入れられるのか、ちゃんと説明がなければ、役に立ちません。まず、心の安心が自分には必要なだと認識することが最初の一步です。しかし、実際にどうすれば心の安心を手に入れられるのかを教わらなければ、何の結果も生み出せません。

心の落ち着きと安心に満ちた人生を楽しむために大いに助けになったことが一つあります。それは、「自分にはどうにもできないことを何とかしようとする」ことは、無駄で非常に苛立たしいということに気付いたことです。

あなたも同じことをしていませんか？自分自身で何かを起こそうとして、イライラしていませんか？神様はすべてにおいて完璧なタイミングを知っています。あなたも神様のタイミングを待つべきです。

本来ならば、季節外れに果実を実らせることはできません。たとえ、季節外れに何かを起こせたとしても、決して満足した結果は得られないでしょう。神様を待つことを学んでください。待つことは神様に敬意を払い、そしてあなたに心の落ち着きと安心をもたらせます。

不可能なことをしようとしていませんか？周りの人たちを変えようとしていませんか？一配偶者や子供、友達や親戚一人が人を変えることはできません。神様だけが人の心に入り、変わりたいという思いを引き起こしてくれます。

もし、外側から圧力をかけ強制して変えようとしても、結果的には何も変わらず、その人の心から平安を奪うことだけで終わってしまいます。私たち

平安 - 心からの安心

は、法の下に置かれ縛られるために創られたものではありません。人には自由が必要です。人は余裕が必要なのです。

結婚して最初の数年、私は主人のデイベに対し、無理やりゴルフをやめさせようとしていました。彼がゴルフをやりすぎだと感じていて、もっと私との時間を大切にしてほしいのです。彼にゴルフをやめさせるために、不機嫌になったり、怒ったり、説得しようとしたり、黙り続けたり、できることはすべて試しましたが、どれも効果がありませんでした。そして、私はいつも不機嫌だったのです。

彼も一時的にゴルフをやめた時期もありました。しかし、不思議なもので、自分が望んでいたことが起きたにも関わらず、私には安心がなかったのです。心に落ち着きがなかったのは、私が間違った方法でそれを求めていたからでした。もし、誰かを無理やり変えようとするれば、それはあなた自身から安心を奪うことになるのです。

自分が霊的にこうありたいと望む姿でいられないからこそ、自分にイライラしていませんか？自分自身を変えようとしていませんか？あなたは聖霊と手を組む必要があります。聖霊があなたの人生の中で働こうとしていることを考えたら、それに協力せずにはいられないでしょう。聖霊はあなたの成長を助け、あなたが完全になることを導こうとしているのです。自分自身の力ではできません。これも自分ではどうしてもできない領域なのです。

きっと、自分の気に入らない事を変えようとするのは、ごく自然なことだとあなたは考えるでしょう。でも、少し現実的になってみてください。そのように変えようとして、成功した試しがどれだけありますか？神様の中で安心を感じ、神様のタイミングを待って、神様に絶大な信頼を置くべきなのに、自分の心に落ち着きをなくし、ただただ失望と落胆を感じていませんか？

要するに、もしあなたが、自分ではどうにもできないことをしようとしているなら、イライラするだけで心の落ち着きと安心を楽しむことはできないのです。

第3章

「心の安心」に導かれること

(審判として立てられた)キリストから来る(心の底からの)平安が、常にあなたがたの心と生活を満たすようにしなさい。(あなた方が思いつく限りの疑問が全て解決され決意することができる)」
コロサイ 3章15節(AMP訳からの直訳)

✦球技スポーツでは、審判が選手の入退場を決定します。その審判のように、平安(=心の安心)は、物事があなたの人生に入るべきか出るべきかどうかを決定するものです。

多くの人が心から楽しめないのは、その人たちが神様の思いの外側にいるからです。彼らは神様の思いよりも自分の思いに従っています。

神様の言葉や神様からくる安心に導かれるよりも、自分たちの感情や、考えが正しいと思ってしまうのです。私たちはほとんどの場合、自分がやりたいことをすることができます。やりたいことをすることはとても聞こえがいいし、自分も気分がよくなるし、むしろ良いこともあります。

しかし、経験上学んだことは、もし神様からくる安心がなければ、自分のやりたいことはそっとしておくのが一番です。神様からくる安心に導かれてください。買い物ひとつとっても、心から安心することができなければ、買わない方が良いでしょう。高額なものに関してはなおさらです。どれだけそれを欲しいと思っても、もし聖霊の導きに従うことがなければ、あなたは罪悪感を覚えることになります。

第3章 - 「心の安心」に導かれること

私が、講演会の仕事のオファーを受けた時のことです。その時私は、その仕事を引き受けたいと思うと同時に、なぜか心に平安を感じませんでした。理由は分かりませんでしたが、なぜか心に落ち着きがなかったのです。違和感を感じながらも、私は単純にその仕事を引き受けました。すると、次第に心の落ち着き無さが何なのか分かり始め、いかに神様に従い、神様から来る安心を選ぶべきだったかを思い知らされたのです。

当時の私には講演会の仕事はごく稀にしかなく、依頼されたこの様なオファーはすべて引き受けたいと思っていました。その講演会でテキサス州にある教会への招待をいただいたのですが、とてもわくわくするような仕事だったので、すぐに引き受けますと返事をしました。しかし2週間後、どういうわけか引き受けたことに対して不安を感じるようになりました。考えれば考えるほど、その不安は強くなり、ただただ、その講演会に行くことに平安を持てなかったのです。しかし、その時点ではまだ神様はその理由を私に教えてくれませんでした。

私はその答えをずっと待ち続けました。そしてついには、キャンセルのお願いをしなればと強く感じ、主催者に電話をしたのです。そして一方的なお断りだったので、もし私の代わりが見つからない場合には講演に行く旨を伝えました。しかし、それでもなぜか、その講演に関して全く、心から安心ができなかったのです。幸いにも、主催者側は私のお断りを承知してくれました。

2-3週間後、私が講演会で話す予定だったその週末に、私の母教会が、新しい会堂をオープンすることを知りました。私が自分のミニストリーを始める前、私は長い間その教会の副牧師を務めており、当時、その教会にいることは私にとって大変重要だったのです。

神様は、最初から何が起きているかをなぜ教えてくれなかったのでしょうか？実は、何らかの理由で、神様がそうしないことを選んだのです。聖書の神様のことばは、心から感じる安心に導かれなさいと言っています。多くの場

平安 - 心からの安心

合、あなたが神様の思いに「沿ってる」か「沿っていないか」を示すために神様が与えるもの、それが、心の安心なのです。後になってその理由が分かることもあれば、一生分からない場合もあるでしょう。

神様の導きを無駄にして自分の思いに従えば、あなたは心から安心した人生を楽しむことができないはずです。

第4章

心の安心を奪うものは何ですか？

✦悩み事は人それぞれ違います。悪魔はあなたの人生のすべてを研究しています。恐らくあなた自身よりもあなたのことをよく知っているでしょう。悪魔はあなたがどんな事で悩むのかを知っています。その為、あなた自身も、自分がどんな事で悩むかを知る必要があります。そして、その悩みによって心の落ち着きを失わないように気をつけてください。

「心の安心を奪うもの」は、人それぞれ異なります。私がイライラし悩むようなことも、主人のデイクにとってはそうではありません。例えば、私は静かな場所を好みますが、彼は騒音（雑音）でイライラすることはありません。彼は、娘が音楽を大音量でかけていても、9歳の息子が犬と床で取っ組み合いをしていても読書ができる人です。

私はバタバタと急ぐこと、時間に遅れることが大嫌いです。時々、デイクは待っている間を使って、いろいろなことをしようとします。その結果、時間ぎりぎりになって大慌てになるのです。悪魔は私のことを知っているので、このような状況を使って私の心の落ち着きを奪おうとします。

そう言いながらも、デイクは、飛行機に乗る時、最低でも1時間前に空港に着きたいというタイプです。また、ゴルフに行く時は、いつも早めにゴルフコースに到着してたいのがデイクです。もし、悪魔がスケジュールをわざとずらしてして彼を遅らせることができたなら、デイクは落ち着きを失い始めてしまいます。

第4章 - 心の安心を奪うものは何ですか？

私たちはみんなそれぞれ違いを持っています。だからこそ、悪魔は一人一人に合った違う方法を使うのです。悪魔よりも賢くなりましょう。悪魔はあなたがイライラするような状況を作ります。あなたの「心の安心を奪うもの」は何ですか？家族と話し合っってリストを作ってみてください。お互いが何にイライラするのかに気付き、そのようなエリアを避けられるようにお互いに協力してください。

デイブはかなりのゴルフ好きです。私もゴルフをしますが、コースを回りながら笑って楽しむ程度が私には丁度いいといったところです。しかし、デイブとゴルフに行く時は、ふざけたり、彼のミスショットをした時にからかうのは賢いことではないと学びました。

私たちは一緒にゴルフを楽しみますが、私は彼が気持ちよくプレイできるように、気をつける必要があります。相手が心を乱すようなことをするのは意味のないことです。あなたが誰かと長く暮らしていれば、自分の弱点と同様に相手の弱点もわかってくるはずです。だからこそ、イライラするエリアを避けるよう、お互いに協力しましょう。

デイブも私の弱点を助けてくれます。私が勉強する時や休みたい時には、静かにするように協力してくれます。そして、私が疲れ切っている時は、休んで気晴らしをするように励ましてくれます。過度の疲労状態にある時、悪魔が心の落ち着きを奪うことを知っているからです。

ガラテヤ6章2節(リビング訳)では、「相手の悩みを共に背負い…」と書いています。すべての人がいろんな弱点を持っていることを知り、お互いに祈り、私たちはお互いの弱点を共に背負ってあげる必要があります。

第5章

なぜ悪魔は心の安心を奪おうとするのか？

✦心の落ち着きと、安心があった時、聖霊との関係をより深いものにすることを私たちは知っています。別の言い方をすれば、聖霊は心の落ち着きがある状態でしか働かないということです。心の落ち着きには力があります。ヨハネ14章17節(AMP訳からの直訳)では、「イエスが私たちに遺したものは平安(=安心した心の落ち着き)であり、イエスがあなたがたに与えている平安は永遠に続く…」つまり、イエスは私たちに彼自身の平安(=安心した心の落ち着き)を与えたいと思っているのです。

もしあなたが問題を抱えていたとしても、悪魔があなたを落ち込ませることができなければ、悪魔はあなたに対して何の力も持っていないのです。落ち着いて、信じる態度を持ち続ける中で、あなたの力は保たれるのです。私たちが落ち込み恐れることは、悪魔の力を引き起こす要因に繋がるのです。

自分が厄介な状況に陥っていると気付いたら、ただ落ち着くことに集中してください。悪魔の、落ち込ませようとする罠に引っ掛からないでください。悪魔は、私たちを感情的に落ち込ませることを楽しんでます。たいてい人は、感情的になった時にいろいろと口に出してしましますが、その言動は悪魔が付けた火にさらに燃料を足しているようなものなのです。

ヤコブ3章5-6節では、舌は小さな部分だが、大きな炎を生むと記されています。私たちの内に潜んで、体を汚染し墜落させるのは、この世の邪悪さで、それは地獄の炎です。この聖書箇所でもわかるように、悪魔はあなたが

平安 - 心からの安心

コントロールを失うことを望んでいます。そうすれば、代わりに悪魔があなたをコントロールできるからです。忘れないでください。悪魔が、あなたを落ち込ませようと罠を張っているのです。

あなたもおそらく気付いたことがあると思いますが、私たちが教会や聖書勉強に行こうと準備をしている時にこそ、悪魔は必死になってきます。何年もの間、日曜日の朝の我が家は、まるで大きな爆弾が落ちた様でした。家族の誰かが不機嫌にならずに、教会に着いたためしがありませんでした。むしろ、全員が不機嫌になっていました。

日曜日の朝は、他の日にも増して、必要なものが見つからなかったり、何かがこぼれたり壊れたりするのです。また、子供たちは、日曜日の朝に限って、ふざけ合って、喧嘩をし、それがエスカレートすればするほど、私もどんどん機嫌が悪くなります。(そうです、私は騒音が嫌いなのです。)

そしてとうとう、私も愚痴を言い始めます。デイブは愚痴を聞くのが大嫌いです。だから、しばらくすると私に愚痴をやめるよう言ってきます。そうすると私は彼に腹が立ち、子供たちは私とデイブが口論しているのを見て泣き出すのです。

それだけでは終わらず、私たちの犬が誰かの靴を啣えて家中を走り始め、そして私は、「早くしなさい!遅れるわよ!」と叫び始めます。きっとその光景が目につかぶことでしょう。

私がヤコブ3章18節を読んで、神様の言葉に耳を傾けたとき、なぜいつもこういうことが起こるのかわかりました。この聖書箇所(AMP訳から一部強調)では、「義の実を結ばせる種(正しい行い)は、平和をつくる人によって、平和のうちに(みことばが)蒔かれます。」と記しています。

つまり、神様のことばが、私たちの人生に根を張り、良い実を結ぶために

第5章 - なぜ悪魔は心の安心を奪おうとするのか？

は、神様のことばを教える人自身が平和な心を作るピースメーカーでなければならないということです。また、聞く側も同じように、神様のことばを聞くときは平和な心の態度を持つ必要があります。

自分自身の人生を考えてみてください。神様のことばを聞きに行く前に、敵は何度あなたを落ち込ませることに成功しているのでしょうか？敵の企みに注意を凝らして、罠にはまらないでください。2 コリント2章11節(AMP訳の直訳)では、「私たちは、悪魔のたくらみや思惑(意図)に対して無知ではありません」とあります。英語のKingJames訳では「策略(手段、計画、仕掛け、装置)」と言っています。悪魔は策略を使って私たちを騙し墜落させようとするのです。だから、悪魔よりも賢くなる必要があるのです！

「バランスを保ち(穏やかに、目を覚まして)、慎重で注意深くありなさい。あなたの敵である悪魔がほえたけるライオンのように[腹をすかして]、引き裂くべき獲物を求めて、うろつき回っているのです。」

第1ペテロ 5章8節(AMP訳から一部強調)

悪魔の餌食にならないように気をつけてください！落ち込んだりイライラし始めたら、一端止まって自分自身に問いかけてください。悪魔は何をたくらんでいるの？もし私が、このネガティブな感情を取り入れてしまったら、どんな結果になるんだろう？

エペソ4章26-27節(AMP訳から一部強調)もまた、私たちが落ち込むことで悪魔に足元をすくわれぬように教えている重要な聖書箇所です。26節では、「…日暮れまで、怒り(憤慨や憤りを)持ったままではいけません」とあります。要するに、「怒ったままではない」ということです。

27節(AMP訳の直訳)では、「(そのような)[悪魔に機会を与えるような]つけ込むすきを悪魔に与えてはいけません。」と教えています。人は落ち込むと、喜びを失います。そして喜びを失うと、力を失います。ネヘミヤ8章10節に

平安 - 心からの安心

は、「…神様を喜ぶことこそ、あなたがたの力なのだ」(リビング訳)とあります。讚美歌を書いたダビデは、詩編42篇5節(NewKingJames訳から直訳)で自分自身の魂にこのように語っています。「なぜ、おまえはうなだれているのか？なぜ、私の中で思い乱れているのか？」イザヤ30章15節では、「…落ち着いて、信頼すれば、あなたがたは力を得る。」私たちの心を不安にさせることで、悪魔が私たちの力を奪おうとしているのがわかります。

私が聖霊から学んだことは、聖霊は心に落ち着きがある時に働くということです。聖霊は不安の中では働きません。悪魔は不安の中で働きますが、聖霊は心に落ち着きと安心がある時にこそ働くのです。自分の家庭や職場、教会や奉仕の中で、平安のある雰囲気を作ってください。そうすることで、あなたは神様のことばを守り、神様の霊を讃えるのです。あなたはその従順さのゆえに、その実を収穫するでしょう。

イエスは70人の弟子を2組ずつに分けて送り出し、たくさんのすばらしい働きをさせました。彼らは、悪霊を追い出し、病人を癒し、福音(イエスの良いニュース)を伝えました。イエスは彼らに、町に行って、家を見つけ、平安のことばを語り、そこに残るように命じました。

そして、その家の人が、彼らを(平安を持って)受け入れなければ、そこで足のほこりを払い落して、先に進むように言ったのです。(ルカ10章1-11節)それはなぜでしょう？弟子たちの働きは、平安(=心の落ち着きと安心)がないところでは力を発揮できないからです。

きっと、この本のメッセージがどの方向へ向かっていくのか、もうお分りでしょう。いつも心の落ち着きを保っていられるように、全力でセルフ・コントロールをしてください。

ルカ22章46節で、イエスは、誘惑に負けないように祈ることを教えています。イエスは弟子たちに言いました。(AMP訳から一部強調)「起きなさい。

第5章 - なぜ悪魔は心の安心を奪おうとするのか？

誘惑に[全く]陥らないように祈っていなさい。」(AMP訳から一部強調) このエリアにおいて、悪魔に抵抗するために自分自身の力に頼らないでください。悪魔が心の落ち着きを奪おうとした時に、神様の恵みによって悪魔に抵抗できるように日々祈りましょう。神様に力をもらい、助けてもらうのです。

ヨハネ15章5節(リビング訳)に、「わたしを離れては何もできません」とあります。自分ひとりでやろうとしないで!助けを求めてください。キリストを通せばすべてが可能ですが(ピリピ4章13節)、自分ひとりでは何もできません。ヨハネ5章30節では、イエスですら自分からは何もできないと言っています。神様に助けてほしいければ、謙虚な態度を持たなければなりません。1ペテロ5章5節(新改訳)ではこのように言っています。「…神は高ぶる者に敵対し、へりくだる者に恵みを与えられるからです。」

悪魔は、あなたの心の落ち着きを奪うことであなたの力を奪いたいのです。悪魔はあなたが弱って力を失うことを望んでいます。でも、私はこの言葉であなを励まします。「…主にあつて、その大能の力によって強められなさい。」(エペソ6章10節 新改訳)

どうか心の落ち着きを保ってください!

第6章

試練への心構え

✦エペソ6章13節(AMP訳から一部強調)にこうあります。「…すべての危機的状況が終わった時も、自分の場所にしっかり立てるでしょう。」あなたにとって、「自分の場所」とは何でしょう?エペソ2章6節では、私たちの立つ場所はイエスにあると教えています。

Stand(立つ)という言葉の訳はギリシャ語のhistemiからきていますが、その意味の一つは、“abide(とどまる)”です。ギリシャ語のabide(とどまる)という言葉は、ヨハネ15章7節ではmenoで、その意味の一つはstandつまり、立つです。Menoはstand(立つ)と訳されることもあるのです。聖書でイエスはこのように言っています。

「あなたがたがわたしにとどまり、わたしのことばがあなたがたにとどまるなら、何でもあなたがたのほしいものを求めなさい。そうすれば、あなたがたのためにそれがかなえられます」

(ヨハネ15章7節 新改訳)

そうです。永遠に変わらない場所にこそ、力があるのです。

ヘブル4章では、神様の休息に入ろうと頑張ったり、骨を折って努力をしたりするのではなく、代わりに信仰と従順さを通すことで、あなたは神様の用意された休息に入ることが出来ると教えています。試練の時、神様が導いてくれたことを行って、自分の足元をしっかりイエスの中に置き、あなたの代わりに働かれるイエスをよく見てください。聖書では、「…しっかり立って、きよ

平安 - 心からの安心

う、あなたがたのために行われる主の救いを見なさい。」(出エジプト14章13節 新改訳)とあります。とどまる、じっと待つ、立つ、休む、そしてイエスの中にいる、などの言葉はすべて一つのことを話しています。そうです。自分の平安を見失わないということです!

ピリピ1章28節は、このポイントを明確に表している、聖書の中でも最もパワフルな箇所の一つです。

「敵対する者たちのどんなしわざにも、一瞬もたじろぐことでない。実際、このような不変性と恐れのないことは、彼らにとっては目前に迫る滅びの明確なしるしと証拠ですが、あなたがたにとっては、永遠のいのちと救いを与えてくださることの、神様からの確かな証拠となります。」

ピリピ1章28節(AMP訳から一部強調)

あなたが攻撃されたら、平安(=神様からくる安心)の中にとどまりなさい、ということはこの聖書箇所では率直に説明しています。これは、悪魔が既に打ち負かされたことを意味しています。あなたを落ち込ませることができなければ、悪魔はこれ以上あなたに何もできないのです。

また同時に、あなたが神様に救われていることを確認しているのです。平安(=神様からくる安心)のある言動と休息は、あなたが本物の信仰をもって行動していることを神様に示しているからです。ヘブル4章では、神様の休息の中に入る者は信じている者だと言っています。

神様があなたの問題解決に取りかかっている間に、人生を楽しみましょう。ほとんどの人が、「問題を抱えている時に楽しむなんて間違っている」という根拠のない考えを持っていることでしょう。結局は、他に何もできないのであれば、あとは自分自身を惨めにするだけです。

第6章 - 試練への心構え

何年もの間、私自身もこの考えに捕らわれていました。デイブと私が、何か試練や問題を抱えていると、彼はそれでもハッピーな人生を楽しんでいました。一方私は、彼が私と同じように落ち込まないのを見て、自分に対する惨めな思いと、彼に対する怒りでいっぱいになってしまっていたのです。

多くの場合、私たちは金銭面で問題がありました。しかし、デイブは、お金の分野に関していつも超自然的な信仰を持っているようなのです。彼は言います。「私たちは、ちゃんと十分の一献金をして、必要があれば寛大に捧げているじゃないか。聖書では、『あなたがたの思い煩いを、いっさい神にゆだねなさい。神があなたがたのことを心配してくださるからです』(1ペテロ5章7節 新改訳)と書いてあるだろう。また聖書では、神様は私たちの必要を満たしてくれる(ピリピ4章19節)と言っているんだから、なぜ心配する必要があるんだい？心配したってお金は降ってこないんだから。」

これがデイブの「立つ」という行動だったのです。神様が問題に対処している間に、デイブは先へ進んで人生を楽しんだのです。そんな彼に私は、「デイブ、そんなこと分かってるわよ。でも、何もしないわけにはいかないじゃない。」と言いました。私は何かしなければならぬと感じているのに彼はこう言うのです。

「わかったよ、ジョイス。僕に何をしたいんだい？」「祈るのよ！あなた祈るべきよ。」すると彼は、「もうとっくに祈ったよ。祈って、神様にこの問題を何とかしてくれるように頼んださ。そして、他に僕がすべきことがあれば教えてください。神様は、僕にまだ何も言ってきていない。だから、惨めに落ち込んでも何の意味もないと思うんだ。」

私も、心の奥ではデイブが正しいと分かっていました。それでも、問題を抱え、やきもきした思いのまま凶々しく人生を楽しむべきではないと思っていたのです。何年もの間、結果はいつも同じでした。毎回、私たちが問題に当たると、デイブは祈って平安(=神様からくる安心)の中にとどまり、私は折り

平安 - 心からの安心

ながらも心配ばかりしていました。私は自分で自分を惨めにしていたのです。デイブは人生を楽しみ、神様はいつも最後に何とかしてくれました。そして、最終的にはいつも問題を乗り越えることができるのです。

私は、結局自分が何も果たせていないことに気づかされました。それを教えてくれた神様に感謝です。私がしていたのは、ただ自分自身を惨めにしていただけで、恐らくそれが原因で神様が与えようとしている答えを遅らせていたのです。今では、私は「嵐の中でも」平安を楽しんでいます。(マルコ4章37-40節)

イエスは言いました。「確かに、この世では苦難と悲しみが山ほどあります。しかし、元気を出しなさい。わたしはすでに世に勝ったのです。」(ヨハネ16章33節 リビング訳)また聖書では、「誘惑は必ず来るが、私たちは誘惑に陥らないように強められている」(ルカ8章13節、1コリント10章13節、ヤコブ1章12節)と教えています。

つまり、私が言いたいのは、人生にはチャレンジや乗り越えなければいけないことが常にあります。しかし、私たちはキリスト・イエスを通してそれらを乗り越える勝利者だということです。(ローマ8章37節)

私たちは既に乗り越えた者ではありません。しかし私たちはいつも乗り越える者なのです。決してあなたがすべての障害を乗り越えることはできないでしょう。しかし、あなたは、キリストにおいていつも勝利できるという確信を持つことができます。あなたはいつも乗り越えるのです！

パウロが、ピリピ4章11-12節で話していることを読んでみてください。彼は、貧しい時も豊かなときも満ち足りる(平安でいる)ことを学んだと言っています。もしこれを学ばなければ、人生は苦しみ連続になってしまうでしょう。忘れないでください。もし悪魔があなたの状況をコントロールできたら、あなたは常に悪魔の支配下に置かれてしまいます。

第6章 - 試練への心構え

しかし、常に平安(=神様からくる安心)を保つことで、あなたは自分自身の権威を活かし歩むことができます。

第7章

一日、一步、着実に

✦平安を失う確実な方法は、明日を心配し始めることです。マタイ6章34節では以下のように言っています。

「だから、あすのための心配は無用です。あすのことはあすが心配します。労苦はその日その日に、十分あります。」
マタイ6章34節(AMP訳)

明日のことを心配しなくても、殆どの人が今日のことで手がいっぱいです。神様はあなたに、今日の分の恵みをくださいます。しかし、神様は、明日にならない限り、明日の分の恵みは与えません。

人はよく、まだ起こってもいないことを心配します。その、「もし起こってしまったら」が問題なのです。「もしこれが起こったら」「あれが起こったらどうしよう」という考えがあなたの頭の中によぎったら、注意してください。そのような状況であれば簡単に心配の中に引き込まれてしまいます。

ある人たちは、心配し過ぎて、それが恐れに変わってしまいます。そして、時として、その恐れていることが実際にその人に起こってしまうのです。私たちは神様から信仰を通して安心を受け取ります。しかし、悪魔からは恐れを通して心配を受け取るのです。

自分自身を明日への恐怖に陥らせないでください。とにかく、神様は忠実な方だということを知ってください。明日が何を握っていようが、神様は「その

平安 - 心からの安心

明日」を握っているのです。神様の恵みは私たちの必要を満たすのに十分です。私たちが今日を楽しめるようにと、神様が与えてくれている恵みを、明日の心配ごとで無駄にしないでください。一日一日を着実に生きることで、私たちはキリストにおいて驚くほど素晴らしいことを達成できるのです。

私は、聖書学校で教え始めた頃に、このレッスンを学びました。私が副牧師をしていた母教会で、当時、週に一回聖書について教えていたのですが、ある日、教会の聖書学校で週に3回、教えないかという話をいただきました。私はすでに4人の子供を持ち、フルタイムの仕事もしていました。そして、私が聖書のことばをもっと教えたいという強い願望を抱いていたときに、週に3回教えるチャンスが来たのです。

しかし、教えるときは、事前に自分で勉強して、準備をする必要がありました。そのクラスの多くは、聖書のより深い内容の勉強で、特に最初の1年は、もっと聖書を深く読み、もっと多くの準備を要することを意味していたのです。私の仕事は日中だったので、勉強は夜に済ませなければなりませんでした。私は、この膨大な量の勉強をいったいどうしたら家事と両立できるか分かりませんでした。私が聖書を教えることは神様の思いだ、と感じていました。

たくさん祈りと考えの末、私は一歩踏み出して、この不可能なことを神様に頼ってやってみよう決心しました。そんな私に、神様はこのように語りかけてくれました。「一日一日、着実にやりなさい。そうしたらできるから。」もし私が明日のことを考え始めていたら、私は不可能なことばかりを見て、すぐ問題にぶち当たっていたことでしょう。

しかし、その日、一日一日を着実にこなすことで、すべてがうまく働いたのです。神様は私に正しいタイミングで恵みを与えてくれました。しかし、私がそれを必要とする時より前には与えず、待たせるのです。私は、このように1年目ですべてのレッスンをこなしたので、2年目になるとだいぶ楽になりました。

第7章 - 一日、一步、着実に

た。そして、1年目のように膨大な勉強をする必要がなくなったのです。

学生に聖書を教えることのほかに、この仕事に挑戦するよう神様が私に求めた理由は主に2つありました。一つは、人生を一日一日着実に生き、神様の恵みでどれだけ達成できるかを私自身が理解するためでした。もう一つの理由は、その忙しいライフスタイルに自分を挑戦させるためでした。

今、私が聖書を教える機会は多く、デイベと各地を巡業して教えることに加え、私たちが家で行っている「Life In The Lord(聖書のことばに生きる)」という集会でも教えることができています。神様は良い神様で、その道は完璧なのです。

これらと関係して、人がよく陥りやすい問題は後悔という思いです。後悔とは、過去にあった帰ることの出来ない失敗の中で生きることです。すべての人が過ちを犯します。そうです。どんな人も間違いを犯すのです。この人は絶対に失敗することはないだろうと思うような人でもです。

人はみな、それぞれ自分の欠点や悩みを背負っている(ガラテヤ6章5節)と聖書も言っています。私たちはみな、「やらなければよかった」、「言わなければよかった」と思いながらもしてしまうのです。そして、やってしまったことは、変えることはできません。

過去にしてしまったことや、今はどうにもできないことで安心した心を失うよりも、ただ神様に信頼して、何とか解決してもらおうべきだと私は学びました。神様にはそれが可能であると、あなたもすでにお判りだと思います。神様は、私たちの過ちをきれいに片づけてくれるんです。

私は時々、言わなければよかったと思うことを言ってしまう。そんなときに、自分が言ったことで誰かを傷つけたり、怒らせてしまったのではないかと心配する代わりに、神様に、「私の心は正しかったということをその人たち

平安 - 心からの安心

に知らせてほしい」とお願いするのです。神様がその人たちの心に働いてくれるようにお願いするのです。そうすることで、何日も心配したり、次に会ったときに気まずい思いをする必要がなくなります。

人は、いろいろなことを後悔する罠にはまります。私とデイブは二人とも多忙なため、よく外食します。時には、不味いレストランやサービスの悪いところに当たってしまうこともあります。レストランを後にしながら後悔し、更にはそのレストランを選んでしまったことにまで何時間も後悔し、心の落ち着きを失うこともできます。

忘れないでください。常に落ち着いて安心した状態で楽しむためには、どうにもできないことに対して何かしようとするをやめましょう。お店で食事をして料金を支払ってしまったら、後悔しても起こったことは変えられません。

こうなったら、その状況をひっくり返すために私たちはこう言います。「すでにあの店に行って、よくないお店だということが分かったのだから、私たちは祝福されているわ!あの店がいいお店じゃないってことがもうわかったんだから。もうあそこで時間とお金を無駄にせずに済むわね。」

「過去に生きようとするれば、人生は難しくなる。」私の部屋の壁には、このような感じの言葉が刻まれた盾が飾ってあります。イエスは、自分自身のことを「私は存在した」とは言いませんでした。未来に生きようとしても、人生は難しくなります。イエスは、自身のことを「私は将来に存在する」とも言っていません。

もし、あなたが人生の一日一日を着実に生きてたら、人生はうまくいくのです。イエスは、自分自身のことを、「私はいる」(ヨハネ8章58節 新改訳)と言ったのです。イエスは、どんな状況でも、いつもあなたのすぐそばにいてくれます。だから、ただイエスを信頼してください。今日必要な恵みは今日与えられるのです。

第8章

祈りは心に安心をもたらす

「何事も心配してはなりません。むしろ、どんなことでも祈りなさい。神様にお願いしなさい。そして、祈りに答えてくださる神様に感謝するのを、忘れてはなりません。そして、すべての理解をはるかに超え神様の平安が、あなたの心と思いをキリスト・イエスを通して守ってください。」

(ピリピ4章6節 リビング訳)

✦人間の理解を越えた平安(=神様からくる安心)を体験することは、本当に素晴らしいことです。状況そのものを見れば、落ち込んだり、動揺したり、混乱したり、心配してしましますが、そこに説明しようのない安心がある

— これは最高の体験です。このような安心に世の中は飢えています。これはお金では買えません。これはイエスがくれる無償の贈りものなのです。イエスを神様、そして救い主として受け入れ、イエスの原理を学んで行動した時に、この安心があなたに与えられます。

イエスに人生を捧げる祈りは、あなたが抱えている重荷をイエスへと動かす力強い祈りです。1ペテロ5章7節に、「あなたがたの思い煩いを、いっさい神にゆだねなさい。神があなたがたのことを心配してくださるからです」(新改訳)とあります。AMP訳ではこのように述べています。

「思い煩いや心配事をすべて[すべての心配事や悩みをきっぱりと]、神様にお任せしなさい。というのも、神様のほうで万事、心にかけてくださるからです。」1ペテロ5章7節 (AMP訳から一部強調)

第8章 - 祈りは心に安心をもたらす

なんという特権でしょう!しかし多くのクリスチャンが、この最高の恩恵をいただいているのにも関わらず、まったく使っていません。

あなたは、神様に心配事をすべてゆだねた時に神様が与えてくれる心からの安心を味わっていますか?Cast(委ねる)という言葉が意味するのは、思い切って投げるといことです。委ねるのは、早ければ早いほどいいのです。そして祈りによって委ねるのです。あなたの問題を愛情に溢れた神様にケアを任せてください。あなたが心配しはじめたり、落ち着きを失ったことに気づいたら、すぐに行動に移してみましょう。

悪魔はあなたが心配を抱くことを望んでいます。1ペテロ5章9節(AMP訳)では、悪魔の「攻撃」に対して「抵抗しなさい」と教えています。これは、攻撃が始まった時、即座にそうしなさいということです。悪魔の次の攻撃まで待たないでください。抵抗までに時間を置いてしまうと、悪魔はあなたをもっと押さえつけるでしょう。そうなったら、そこから抜け出すのが大変です。自分が心配していることに気が付いたら、すぐに心配するのをやめてください。その心配を神様に投げて、自分の思考パターンを変えるのです。

私が「心配ごとを委ね(投げ)て、「心配しない」というこの原理を初めて学んだとき、自分の考え方が間違っていたことに気がつきました。一日中、自分で勝手に繰り返した妄想を捨てても、それがすぐに戻ってくるのです。このことで自分がとても苛立っていたのを覚えています。私は神様に言いました。「人はどうやったら心配せずにいられるのですか?」

そうです。心配しないためには、まずその問題のことを考えてはいけません。言いたいことは、何か決断するときは、ネガティブではなくポジティブに考えなければいけません。問題について現実的に考えるとき、ネガティブになる必要はないのです。

イエスに、「いったいどうしたら、この問題を考えずに済むの?」と聞いた

平安 - 心からの安心

時のことを今でも鮮明に覚えています。イエスは言いました。「ジョイス、単純なことだよ。他のことを考えればいいんだ。」そうです。問題ではないことを考えれば、問題について考えずに済みます。

ピリピ4章6節では、心配するのをやめて、代わりに祈るようにとっています。続きの7節では、6節に書いてあることを行えば、あなたの理解を越えた神様からくる安心を味わうことができる、と書いてあります。そして8節(AMP訳)では、次のように教えています。

「すべての真実なこと、すべての誉れあること、すべての正しいこと、すべての清いこと、すべての愛すべきこと、すべての評判の良いこと、そのほか徳と言われること、称賛に値することがあるならば、そのようなことに心を留めなさい。」

ピリピ4章8節 (AMP訳から一部強調)

いま、神様があなたに恵みを与えてくださるよう祈ります。あなたが、これらの原則を人生で実践するための聖霊の力が与えられ、平安に溢れた祝福を満喫できますように。また、天のお父さんである神様が、その恩恵と栄光のためにあなたを用いてくださるよう祈ります。

新たな人生を体験する

もし、あなたがまだ一度もイエスを自分の神様、そして救い主として迎え入れたことがなかったら、ぜひ今迎え入れてみてください。この祈りを心から祈ったとき、あなたはキリストの中で新たな人生(命)を体験するでしょう。

父なる神様、私はイエス・キリストがあなたの息子であり、この世の救い主だと信じます。イエスが私のために十字架にかかって死んでくれたこと、そして私のすべての罪に耐え忍んでくれたことを信じます。イエスは、私が負うべきだった罰を負ってくれました。イエスが亡くなった後に死から復活し、いま、あなたの右の座に着いていることを信じます。イエス、あなたが必要です。私の罪を赦し、救ってください。そして私の内に住んでください。私は生まれ変わりたいです。

いま、イエスがあなたの心のうちに住んでいることを信じてください。あなたは赦され、正しい者とされました。そしてイエスが再びやって来るとき、あなたは天国へ行くのです。

どうか、神様のことばと、キリストの中で成長することを教えてくれる良い教会を見つけてください。神様のことばを知ることに、あなたの人生は変わりません。ヨハネ8章31-32節(新改訳)ではこのように書いています。「もしあなたがたが、わたしのことばにとどまるなら、あなたがたはほんとうにわたしの弟子です。そして、あなたがたは真理を知り、真理はあなたがたを自由にします。」

最愛のあなたへ、

ヨハネ8章31－32節(新改訳)ではこのように書いています。

「もしあなたがたが、わたしのことばにとどまるなら、あなたがたはほんとうにわたしの弟子です。そして、あなたがたは真理を知り、真理はあなたがたを自由にします。」

どうか、神様のことばを握りしめ、心にしっかりと植えてください。そうすることで、2コリント3章18節の神様のことばにあるように、あなたはイエス・キリストに似た者へと変えられていくでしょう。

愛をこめて、
ジョイス

ジョイス・マイヤーについて

ジョイス・マイヤーは、聖書の教えを分かりやすく実践的に語る、世界でも有数のメッセンジャーです。ニューヨークタイムズのベストセラー作家でもあり、著書は100冊を超えます。「あなたの人生をシンプルにする100の方法」、「決して諦めないで!」、「思考という名の戦場」など、インスピレーションに溢れた代表作に加え、小説も執筆しています。また、数多くのメッセージをオーディオやビデオで幅広く提供しています。ジョイスのテレビ/ラジオ番組、「人生を毎日楽しむコツ」は世界中で放送されており、ジョイス自身も、カンファレンス講演のため、世界中を飛びまわっています。ジョイスと夫のデイヴは、4人の子どもを育て、現在は米国ミズリー州、セントルイーズを拠点としています。

ジョイス・マイヤーへお問い合わせ

ジョイス・マイヤー ミニストリー - ジャパン

(+81) 0120-05-3922

contact@jmmjapan.jp

www.jmmjapan.jp

Joyce Meyer Ministries - USA

(+1) 636-349-0303

www.joycemeyer.org

救いの祈り

神様はあなたを愛していて、あなたと個人的な関係を持ちたいと願っています。もし、あなたが今までイエス・キリストをあなたの救い主として受け入れたことがないのなら、今受け入れることができます。ただ心をイエスに開いて、この祈りを祈ってください。

「天のお父さん、私はあなたに罪を犯してしまっていたことを認めます。私を赦してください。私をきれいさっぱり洗ってください。あなたの息子であるイエスに信頼することを約束します。イエスが私のために死んでくれたことを信じます。十字架上で彼が死んだ時、彼が私の罪を背負ってくれたことを信じます。そして、イエスが死から復活したことを信じます。今、私の人生をイエスに委ねます。

天のお父さん、赦しと永遠のいのちという贈り物を与えてくれてありがとう。あなたのために生きることができるように助けてください。イエスの名によって、アーメン。」

心からこの祈りを祈ったなら、神様はあなたを受け入れました。あなたを清めて、あなたを霊的な死の縛りから解放してくれました。時間をとって以下の聖書箇所を読んでみてください。そして、これからの新しい人生の旅を神様と一緒に歩いていく中で、神様が語ってくれるように祈ってください。

ヨハネによる福音書 3:16

コリント人への第一の手紙 15:3-4

エペソ人への手紙 1:4

エペソ人への手紙 2:8-9

ヨハネの第一の手紙 1:9

ヨハネの第一の手紙 4:14-15

ヨハネの第一の手紙 5:1

ヨハネの第一の手紙 5:12-13

イエス・キリストとの関係の中で成長することを励まされるような、聖書に基づいた良い教会を見つけることができるように神様に祈り求めてください。神様はいつもあなたと一緒にいてくれます。1日1日、どんな時も神様はあなたを導いてくれます。そして、あなたに用意されている、いのちに溢れた豊かな人生を生きる方法を示してくれるでしょう!

全ての問題を神様に委ねて…

神様はあなたに心からの安心と喜びを与えてくれます！



あなたは不可能なことを無理矢理やろうとしていませんか？周りの人たちを変えようと無駄な努力をしていませんか？精神的に落ち着いていないことが理由で、自分に不満を抱いていませんか？

あなたに完全な安心がなければ、人生を楽しむことはできません。

著者ジョイス・マイヤーが、毎日の生活に使えるコツを簡単に説明してくれます。どんなにひどい「嵐」でも、「安心」があるはずですよ。

ジョイスの知恵は、例えばこのようなものです。

- ・神様を待ち、神様の完璧なタイミングを待つ
- ・あなたに不満を抱かせる「安心を奪うもの」の裏をかく
- ・冷静な態度と信頼することの力を理解する
- ・明日の心配より、今日の恵みに集中する

神様からの心からの安心（平安）は私たちの理解を超えるもので、神様からの贈り物なのです。あなたは、それを受け取る準備ができていますか？



JOYCE MEYER
MINISTRIES